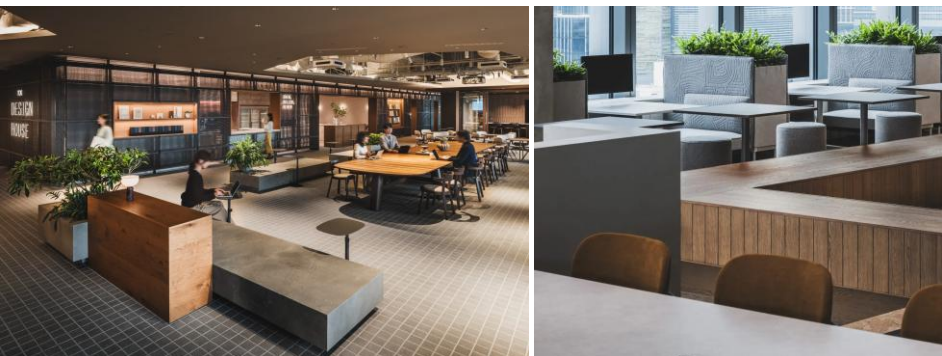




2025年12月期第3四半期 決算補足説明資料

2025年10月31日

株式会社イトーキ（東証プライム：7972）



目次

1. 2025年12月期第3四半期 連結業績
2. 2025年12月期 業績予想
3. appendix

A photograph of a modern office interior. The space features a long, light-colored wooden counter or desk in the foreground. To the right, a staircase with a wooden wall and a glass railing leads upwards. The ceiling is white with recessed lighting. In the background, there are more office desks, chairs, and large windows. The overall atmosphere is bright and professional.

1. 2025年12月期第3四半期 連結業績

- ・ 過去最高値を更新（第3四半期連結累計期間および第3四半期）
売上高 : 4期連続の増収、3期連続で過去最高の売上高を更新
営業利益 : 過去最高益を更新
- ・ 売上高、営業利益ともに想定どおりの進捗
- ・ 配当予想68円（年初予想の65円から3円増配）

ワークプレイス事業

- ・ ハイブリッドな新しい働き方にあわせたりニューアル案件やオフィス移転などを中心に**増収**
- ・ 増収効果および空間設計・デザインを起点とするオフィスの付加価値提供を通じた利益率改善により、**増益**

設備機器・パブリック事業

- ・ 研究施設向け設備が好調に推移し、**増収**
- ・ 研究施設向け設備における増収効果、利益率の改善により、**増益**

2025年12月期第 3 四半期 連結業績



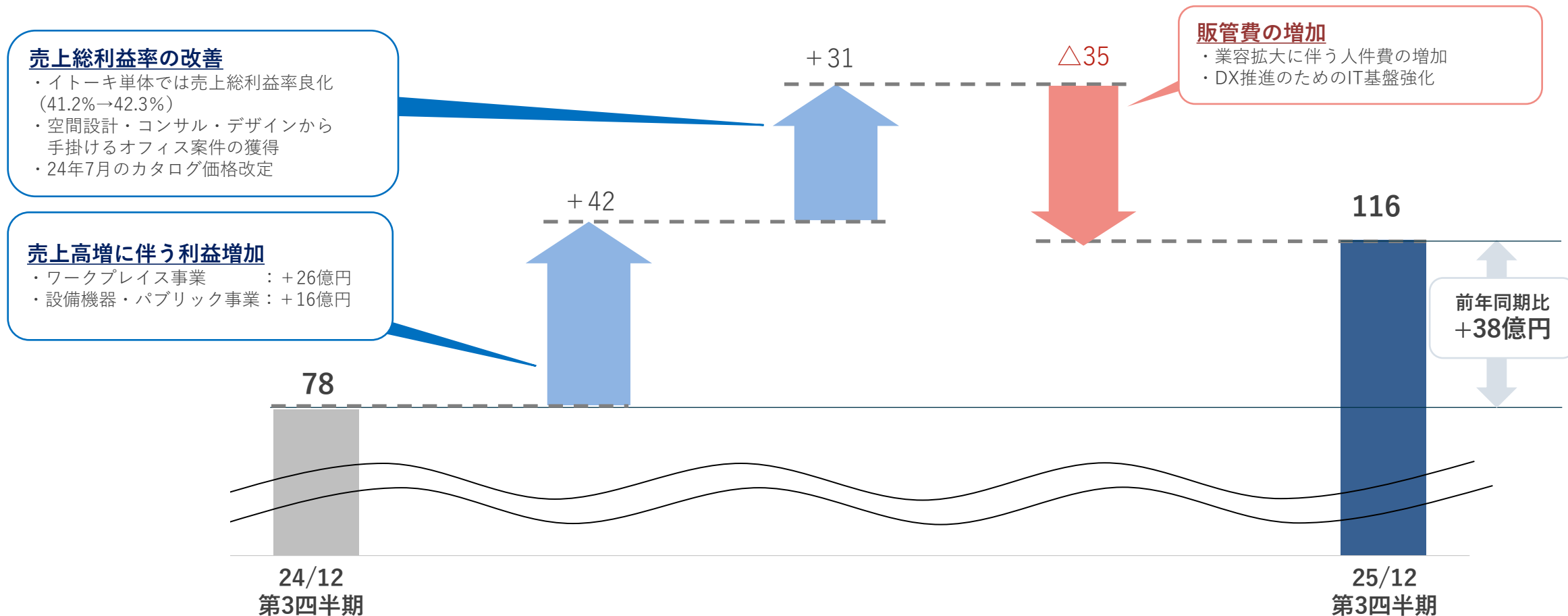
2025年1月1日～2025年9月30日 単位：億円

【 連結 】	24/12 第 3 四半期		25/12 第 3 四半期		増減		通期修正予想	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増加率	金額	進捗率
売上高	1,021	—	1,124	—	+103	+10.1%	1,500	75.0%
売上原価	620	60.8%	650	57.8%	+29	+4.8%	—	—
売上総利益	400	39.2%	474	42.2%	+73	+18.4%	—	—
販管費	322	31.6%	357	31.8%	+35	+11.0%	—	—
営業利益	78	7.6%	116	10.3%	+38	+48.8%	120	96.8%
経常利益	78	7.6%	114	10.2%	+36	+46.7%	120	95.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	58	5.7%	76	6.8%	+18	+32.1%	83	92.3%

【 セグメント 】		24/12 第 3 四半期		25/12 第 3 四半期		増減		通期予想	
		金額	売上比	金額	売上比	金額	増加率	金額	進捗率
ワークプレイス 事業	売上高	764	—	826	—	+62	+8.1%	1,130	73.2%
	営業利益	62	8.1%	94	11.5%	+32	+52.2%	97	97.7%
設備機器・ パブリック事業	売上高	244	—	286	—	+41	+17.1%	360	79.5%
	営業利益	14	5.8%	20	7.0%	+5	+40.8%	23	87.4%

人的資本投資を背景としたオフィス需要の拡大、空間設計・コンサル・デザインを起点とする高付加価値なオフィス環境の提供により、人件費増・戦略的支出を吸収

（単位：億円）



A photograph of a modern office interior. In the foreground, there is a long, light-colored wooden table. To the right, a set of stairs with a wooden railing leads up. The background shows more office furniture, including desks and chairs, and large windows letting in natural light. The overall atmosphere is bright and professional.

2. 2025年12月期 業績予想

■ 業績予想

- ・ 中期経営計画の2年目として、連結売上高は、+8.3%（ワークプレイス+10.6%、設備機器・パブリック+4.3%）を見込む
- ・ 連結営業利益は、120億円、+19.1%の増益を見込む

2025年1月1日～2025年12月31日 単位：億円

【 連結 】	2024年12月期 実績	2025年12月期 年初予想	2025年12月期 修正予想	年初予想比		前期増減	
				金額	増加率	金額	増加率
売上高	1,384	1,450	1,500	+50	+3.4%	+116	+8.3%
営業利益	100	115	120	+5	+4.3%	+20	+19.1%
経常利益	100	115	120	+5	+4.3%	+20	+19.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	71	80	83	+3	+3.8%	+12	+15.5%
〔営業利益率〕	〔7.3%〕	〔7.9%〕	〔8.0%〕	—	〔+0.1pts〕	—	〔+0.7pts〕

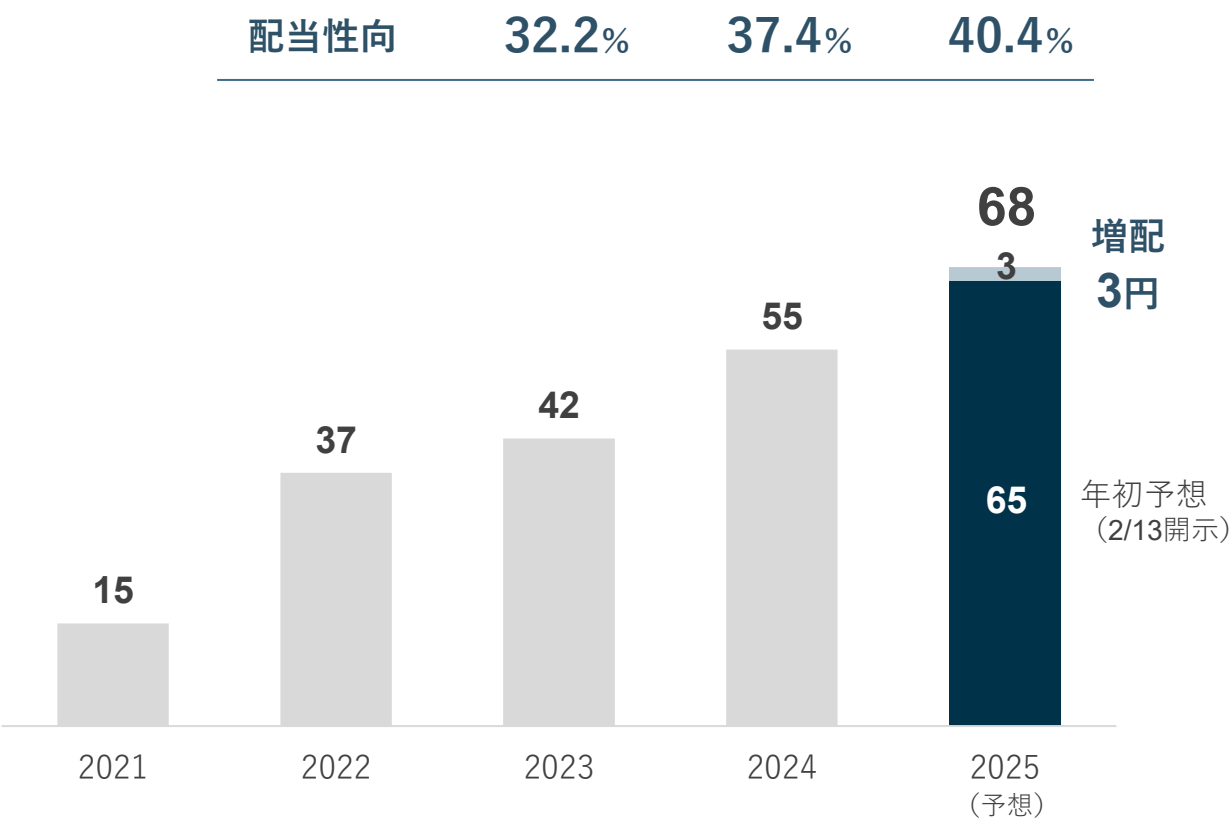
【 セグメント 】		2024年12月期 実績	2025年12月期 予想	2025年12月期 修正予想	年初予想比		前期増減	
					金額	増加率	金額	増加率
ワークプレイス事業	売上高	1,022	1,120	1,130	+10	+0.9%	+108	+10.6%
	営業利益	80	96	97	+1	+1.0%	+17	+21.3%
	〔営業利益率〕	〔7.9%〕	〔8.6%〕	〔8.6%〕	—	〔±0.0pts〕	—	〔+0.7pts〕
設備機器・パブリック事業	売上高	345	315	360	+45	+14.3%	+15	+4.3%
	営業利益	18	18	23	+5	+27.8%	+5	+27.8%
	〔営業利益率〕	〔5.4%〕	〔5.7%〕	〔6.4%〕	—	〔+0.7pts〕	—	〔+1.0pts〕

株主還元方針

当社は、利益配分につきましては、経営の重点政策の一つとして認識し、会社の収益状況、内部留保の充実、今後の事業展開等を総合的かつ長期的に勘案したうえで、株主の皆様に継続的かつ安定的に配当することとし、期末配当として年1回を行うことを基本方針としております。

今後の配分につきましては、更なる株主重視の経営を志向し、従来の安定配当に加えて連結業績を考慮するとともに、**配当性向40%を目指し**、配当政策を実施してまいります。また、内部留保につきましては、企業価値の向上を図るために、将来の成長に不可欠な研究開発や成長分野への戦略的な投資を中心に効率的に活用してまいります。

1株当たり年間配当金（円）の推移

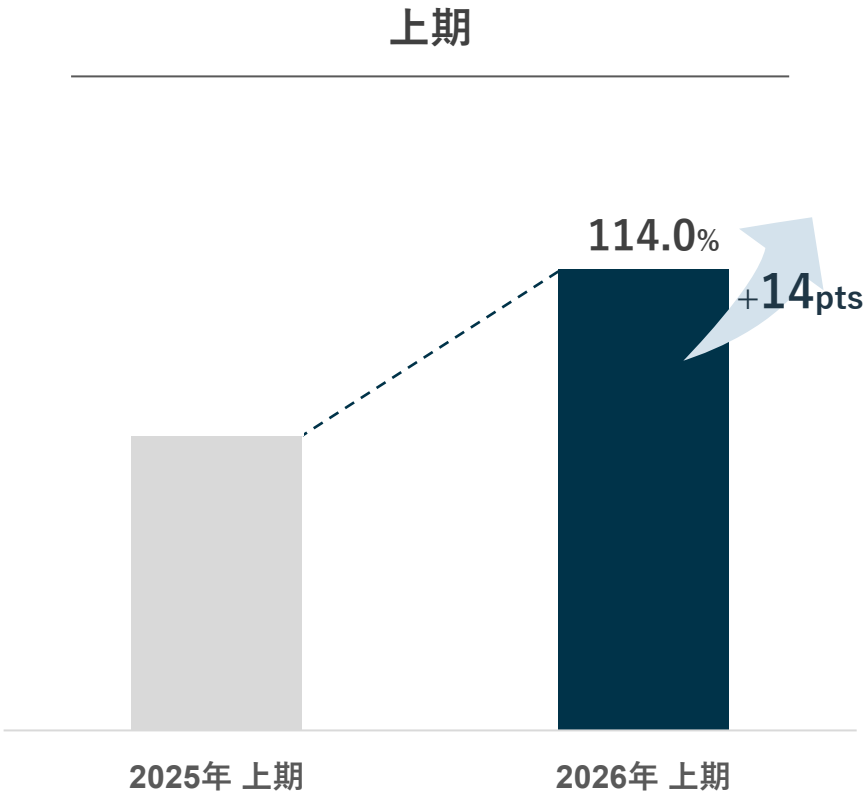
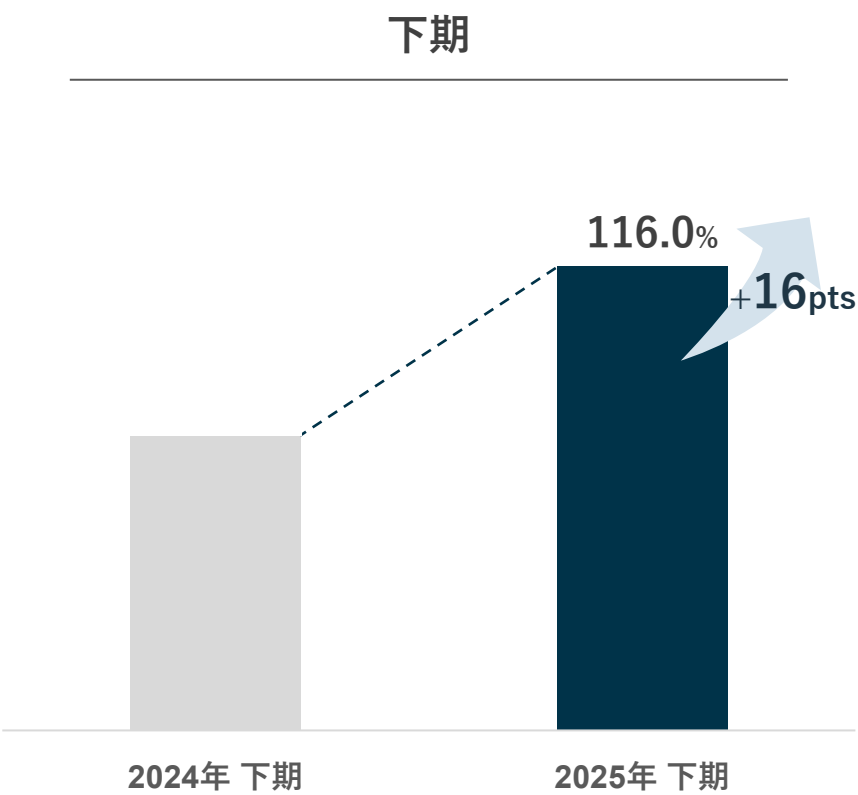


The background image shows a modern office interior. On the left, there is a long, light-colored wooden table with a metal railing. In the center, a wide staircase with light-colored steps leads upwards. To the right, a large window with a wooden frame looks out onto a green landscape. The ceiling is white with recessed lighting. The overall atmosphere is bright and airy.

appendix

保有商談の状況（2025年7月末日時点）

- ・ 国内ワークプレイス事業および設備機器・パブリック事業の合算
- ・ 前年同時期の保有商談額を100とした場合の当期保有商談割合：金額ベース



働きやすいオフィスを共同検証、村田製作所本社で「Data Trekking」を導入 ～ 音圧・CO₂などを追加解析し、コミュニケーションとコンディションの関係性をIoTで可視化 ～



村田製作所本社オフィスでは、従業員増加に伴う改修にあわせ、働き方をデータドリブンに検証する仕組みとして「Data Trekking」を導入しました。

本プロジェクトでは、お客様の独自データを含めた複層的なデータのかけあわせによる新たな視点の発見を可能にしているサービスの特徴を生かし、両社による共同検証を実施。当社の従業員サーベイや位置情報に、村田製作所のセンサデータプラットフォーム「Pifaa（ピーファ）」で収集した温度・湿度・CO₂濃度・音圧などの環境データを組み合わせ、オフィス内のコミュニケーション量と働きやすさの関係性を分析しました。

▼村田製作所様 導入事例

<https://www.itoki.jp/special/data-trekking/case-studies/murata/index.html>

約3年で基幹システムを刷新 クラウドERPでDX基盤を確立し“脱レガシー”へ
～業務の「標準化・簡素化・自動化」を掲げ、最終フェーズのSCMが稼働、オペレーショナルエクセレンスを強化～

イトーキのクラウドERP 導入



当社は、「2025年の崖」を見据え、老朽化したスクラッチ開発による基幹業務システムを刷新するため、オラクルのクラウドERPならびにクラウドSCM導入を中核とした全社業務改革プロジェクトを推進してきました。このたび、最終フェーズであるSCMモジュールが本稼働したことをお知らせします。また、これにより、経営基盤のさらなる強化と、柔軟かつデータドリブンな経営体制の実現を目指していきます。

※本プロジェクトは、中期経営計画「RISE TO GROWTH 2026」（2024年-2026年）の重点施策として、業務の「標準化・簡素化・自動化」に取り組むもので、2023年から段階的にEPM（経営の高度化）、FIN（経理の高度化）を導入。今回、受発注から売上までを統合管理するSCMの稼働をもって、全社の基幹業務がクラウド基盤へ移行しました。

グループ会社ダルトン、
子会社の設立及び半導体製造装置事業の譲受に関するお知らせ

株式会社ダルトンは、新たに設立したダルトンの100%子会社であるADテクノロジーズ株式会社を通じ、アスカテクノロジー株式会社が営む半導体製造装置事業を譲り受けいたしました。
(譲受実行日：2025年9月1日)

設備機器・パブリック事業の研究施設領域においては新製品投入によるシェア拡大を図るとともに、2025年度はグループシナジー追求の一環として、研究施設領域を主力事業とするグループ会社ダルトンの経営改革を推進しております。



レジスト剥離装置（左）、エッチング装置（右）

グループ会社ダルトン、
子会社との合併実行完了のお知らせ

株式会社ダルトンは、2025年1月に発表した通り、ダルトンの100%子会社である不二パウダル株式会社との合併を実行しました。
(合併実行日：2025年10月1日)

本合併により、ダルトンは粉体機械事業において「製販一体」の事業運営体制を構築し、以下を実現してまいります。

- 内製化の拡大によるグループ外キャッシュアウトの削減
- 製販一体化による顧客対応力及び製品開発力の強化
- 事業運営効率の最大化と優秀な人材の確保

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
名称	株式会社ダルトン	不二パウダル株式会社
所在地	東京都中央区築地5丁目6番10号	大阪府東大阪市中石切町7丁目1番45号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 澤田正	代表取締役社長 澤田正
事業内容	科学研究施設機器、粉体機械、半導体製造関連装置、クリーン機器等の販売	粉体機械の製造
設立年月日	1948年7月3日	1954年8月23日



BOUNCEBACK® 紹介動画公開

バウンスバック



BOUNCEBACKをクリック
(47:52~50:15)



4.設備機器・パブリック事業

自己紹介

設備機器・パブリック事業の概要

物流施設領域・研究施設領域において開発・エンジニアリングにリソースを重点配分し、第2の柱に育成する

BOUNCEBACK

近年の国内動向

当社の活動状況、需要値

設備機器・パブリック事業の今後の方向性



[2025年12月期第2四半期（中間期）決算説明会動画内より](#)



統合報告書2025（英語版）、 統合報告書2025 紹介動画（英語版） 公開

イトーキの経営リーダーが語る、変革と成長のストーリーをお届けします。「明日の働く」をデザインする私たちの挑戦を、統合報告書2025紹介動画（英語版）をご覧ください。



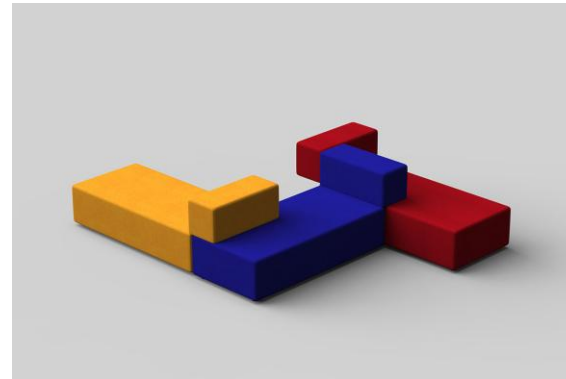
[統合報告書2025（英語版）](#)



[統合報告書2025紹介動画（英語版）](#)

※イトーキ公式YouTubeへ遷移します

「2025年度グッドデザイン賞」で、製品4件、空間2件、ブランド1件の計7件を受賞



BITMAP (ビットマップ)



Parlamento (パラメント)



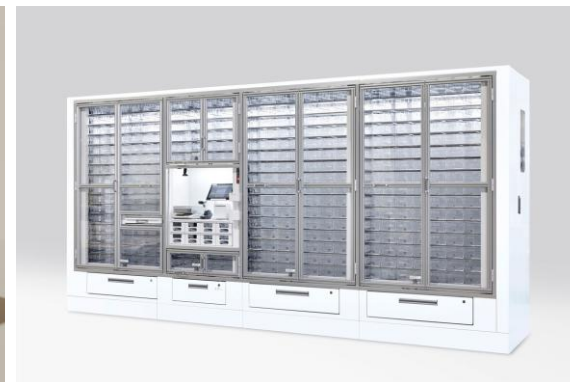
ITOKI DESIGN HOUSE 11F



NII (ニー)



Centra (セントラ)



DAP with MediMonitor
(調剤薬局向け薬剤ピッキングシステム)



東洋エンジニアリング本社オフィス
Bay Tech Makuhari

関西物流センターを「GLP ALFALINK 茨木3」に移転 ～ 西日本供給網を再編し、効率化と働きやすさを両立 ～

関西物流センターは関西2府4県（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県）への製品供給の拠点となります。本移転により、西日本全域への製品供給を担う「滋賀ロジスティクスセンター」（滋賀県近江八幡市）と合わせ、西日本の供給網を再編し、配送効率を高めるとともに働く環境の質向上を図ります。（稼働日：2025年9月1日）



“働きたくなる工場”へ。 関東工場、オフィスエリアを大規模リニューアル

千葉県千葉市にある関東工場のオフィスエリアを全面リニューアルしました。（リニューアル日：2025年9月11日）
今回のリニューアルは、「Challenge to Craft」を空間コンセプトに掲げ、製造現場における“これからの働き方”を具現化する取り組みとして推進しました。今回、最大のチャレンジとなったのが、書類の削減です。法律上保管が義務付けられているものも多く、あふれる書類がスペースを圧迫していましたが、廃棄や倉庫整理を徹底し、オフィスエリアの書類を約8割削減しました。これにより空間にゆとりが生まれ、より働きやすいオフィスデザインを実現しています。



イトーキ、日立、トクヤマ、太陽光パネル板ガラスを そのままオフィス家具へ、アップサイクル実証



本取り組みは、太陽光パネルから回収した板ガラスを粉砕せずにオフィス家具に再利用する初めての事例であり*、廃棄物削減とともに、新規にガラスを製造する場合と比較してCO₂排出量最大50%の削減が見込まれ、持続可能な社会インフラの構築を後押しします。

* 日立、イトーキ、トクヤマ調べ(2025年8月時点)

▲太陽光パネルから回収した板ガラスを再利用した会議ブースの試作品(外装)

カンディハウスと北海道産材の共同開発を開始



2024年より北海道における法人協業を開始。地域材を活用した空間提案を推進し、地域資源の価値を最大限に引き出しながら、木の心地よさをオフィスに取り入れています。今後は、全国規模での提案強化とともに、家具製造過程で生じる北海道産材の端材や未利用材の活用による家具開発を進め、2026年の製品化およびプロジェクト受注拡大を目指します。

全国主要拠点をITOKI DESIGN HOUSEへリブランディング ～ 旗艦ショールーム「ITOKI DESIGN HOUSE AOYAMA」をオープン～



▲「ITOKI DESIGN HOUSE AOYAMA」2025年10月31日オープン

新オウンドメディア『ITOKI STORY』を開設 ～ “働く”に向き合うすべてのビジネスパーソンへ働き方やキャリア、 組織づくりのヒントを発信～

ITOKI STORY
“働く”真ん中に、人がいる。

テクノロジーが進化しても、働き方が多様化しても、
変わらないのは「人」が想いをもって働いているということ。

イトーキは、働く「空間」「環境」「場」づくりを通して、
その想いに耳を傾け、寄り添い、共に歩んできました。

ここに綴られるのは、そんな想いと向き合いながら働く人々の物語。
読んだあなたの心にも何かが灯る、そんなストーリーをお届けします。

本メディアでは、従業員の声や想いをはじめ、製品や空間開発の背景、プロジェクト推進の工夫、チームの連携力やカルチャーなどをリアルに紹介し、様々なビジネスパーソンの“働く”に活かせる視点や学びをお届けします。

▼『ITOKI STORY』
<https://www.itoki.jp/company/itokistory/>

＜注意事項＞

- 当社の連結決算は日本会計基準を採用しております。
- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

＜IRに関するお問い合わせ＞
株式会社イトーキ
コーポレートコミュニケーション統括部
IR・SR部 IR課

電話:03-6910-3910
E-mail:itk-ir@itoki.jp
<https://www.itoki.jp/company/ir/>

明日の「働く」を、**デザインする。**